

様々な医療施設様で Phylsia(フィルシア) が 活躍しています！



活躍シーン紹介

Phylsiaを院内業務の中で上手に利用することで、たくさんのメリットをご享受いただけます。

Case. 1 A大学附属病院様(800床規模)

生理検査や超音波検査の進捗状況を1システムで簡単に確認でき、更に患者様へのサービス向上にもつながっています。

従来は、循環器・脳神経・超音波の各検査室にそれぞれのシステムが導入されており、各検査担当はそれぞれのシステムを参照し、進捗状況を確認・把握しておりました。検査室スタッフは、必然的に複数システムの操作方法を覚える必要があることに加え、生理検査室トータルの状況把握が難しく、運用が非常に煩雑でした。

Phylsiaを導入することにより各システムを残したままで検査進捗の一元管理が可能となり、運用がシンプルになりました。煩雑な複数システムの操作が少なくなることで、作業時間も短縮され、余った時間を患者様のサービスにあてることが可能になりました。

患者様にも喜ばれ、検査室も大助かりです。



Case. 2

B医療センター様(500床規模)

複数種類のソフトウェアを起動することなく欲しい情報がワンクリックで瞬時に確認できることは想像以上に便利です。

他検査結果を確認するためには、従来は、電子カルテにログインし、電子カルテのメニューから他の検査システムを起動して内容の確認を行っていました。

Phylsiaのweb画面を利用することにより、1画面から各システムをワンクリックで起動できて、煩わしい手間もなく症状が気になる患者様の他検査状況の確認や、経過観察を瞬時に見ることが可能になりました。

一見何気ないことですが、ストレスなく操作できることで、診断に集中できることが一番ありがたいことです。



Case. 3

C病院様(300床規模)

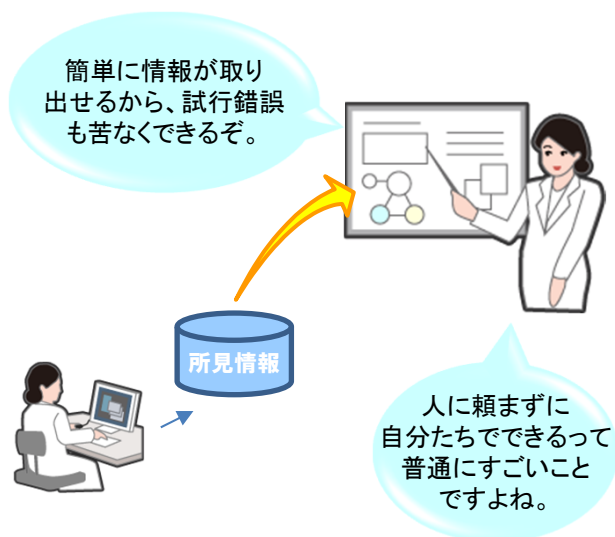
所見データの2次利用。欲しいデータが自由に取り出せて、学会発表用の資料作成が手間無くでき、とっても便利になりました。

欲しい情報が簡単に抽出可能。これって意外とできないのではないのでしょうか？

ルーチン業務で入力した膨大な所見データの中から特定の情報を欲しいタイミングで取り出せる。

今まではデータの抽出や整理に莫大な時間がかかっていたのに、Phylsiaの抽出機能を使うことにより、学会発表用のデータ整理が容易にできるようになりました。

所見データのみではなく、TATデータの抽出・分析を行い、患者様の待ち時間短縮のためのスタッフ配置検討等も行おうと企んでおります。



オネストメディカルシステムシリーズに関する情報

WEBサイト：<https://www.honest.co.jp>

メール：eigyo@honest.co.jp

株式会社オネスト

本社 / 〒170-6038 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 38階

